

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数 320,000,000 株
 発行済株式の総数 68,019,379 株
 株主数 13,279 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託銀行	4,592	6.75
第一生命保険相互会社 (現 第一生命保険株式会社)	2,100	3.08
株式会社森精機製作所	2,000	2.94
株式会社三井住友銀行	1,516	2.22
株式会社北越銀行	1,484	2.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,314	1.93
ツガミ取引先持株会	1,313	1.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,274	1.87
バンクオブニューヨーク・ジェシー・エム クライアント アカウント ジェイビー・アール・デイ・アイ・エス・ジー・エフ・イー・エイ・シー	1,082	1.59
エスアイエックス エスアイエス エルティエデー	1,011	1.48

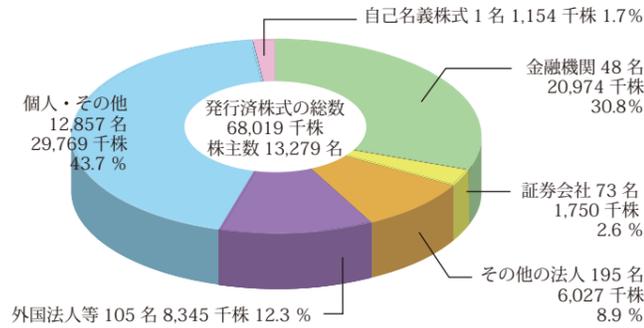
- (注) 1. 株数は単位未満を切り捨て、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数 4,592 千株は、(株)東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は(株)東京精密が留保しております。
 3. 当社は自己株式を 1,154 千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社の概要 (平成22年3月31日現在)

商号 株式会社ツガミ
 設立 昭和12年3月
 本店所在地 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9番10号
 資本金 10,599 百万円
 従業員数 517 名
 役員状況 (平成22年6月18日現在)
 代表取締役社長執行役員 西嶋尚生
 代表取締役専務執行役員 菊池克治
 “ 新嶋敏治
 取締役常務執行役員 本間利雄
 “ 唐東雷
 社外取締役 中川威雄
 “ 鱈見満裕
 常勤監査役 大宮郁士
 社外監査役 太田邦正
 “ 宮田芳文
 “ 玉井宏明
 本社・工場 本社 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9番10号
 長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号
 信州工場 長野県佐久市中込3600番地
 高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2
 新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地
 営業拠点 東日本営業部 (東京)
 長岡営業部 (長岡)
 諏訪営業部 (諏訪)
 中部営業部 (名古屋)
 西日本営業部 (大阪)

ツガミグループ 株式会社ツガミマシナリー
 株式会社ツガミ総合サービス
 株式会社ツガミプレジジョン
 津上精密机床 (浙江) 有限公司 [中国]
 TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]
 TSUGAMI GmbH [ドイツ]
 TSUGAMI KOREA Co.,Ltd [韓国]

所有者別株式分布状況



株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 剰余金の配当の基準 期末配当の基準日は、毎年3月31日
 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 郵便番号 137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(<http://www.tsugami.co.jp/>)に掲載いたします。
 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。
 上場金融商品取引所 東京証券取引所

お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

株主の皆様へ

第107期報告書 平成21年4月1日～平成22年3月31日



ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

さて、当社第107期の営業の概要等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、世界的な金融不安を発端とする不況から一部で回復の兆しが見えるものの、世界的経済危機以前の水準から比べると依然として厳しい状況で推移いたしました。

工作機械業界の動向におきましても、全体としてはやや回復しておりますが、未だ過去の水準に至っておりません。然しながら、昨年末より中国等アジア新興国の需要は好転しており、加えてHDDを含むIT関連業界は顕著な回復を見せております。

このような状況の下で、当社グループは長年培った精密加工のノウハウを基に、中国等新興国のニーズおよび高度化するIT関連ニーズに応えるべく精密工作機械を積極的に市場に提供してまいりました。また、生産能力の増強および円高対応や価格競争力強化のため、中国工場の生産を増強する等、グループ全体で生産体制の見直し・効率化に努めてまいりました。これにより、受注は第4四半期より高水準で推移しております。

この結果、売上高は第4四半期に上向いたものの、第3四半期までの落込みの影響が大きかったため、前年同期比31.2%減の15,598百万円となりました。また、損益につきましては、営業利益は前年同期比89.5%減の84百万円、経常損失は117百万円、当期純損失は244百万円の損失となりました。

平成22年3月期の利益配当金につきましては、第2四半期連結累計期間における業績において純損失計上となったことから、中間配当金は無配とさせていただきますが、第4四半期より高水準の受注が続いており、最近の業績好転に伴い期末配当金は5円とさせていただきます。今後の配当につきましては、業績連動を基本としつつ企業体質の強化を図りながら安定配当を続けてまいりたいと考えております。

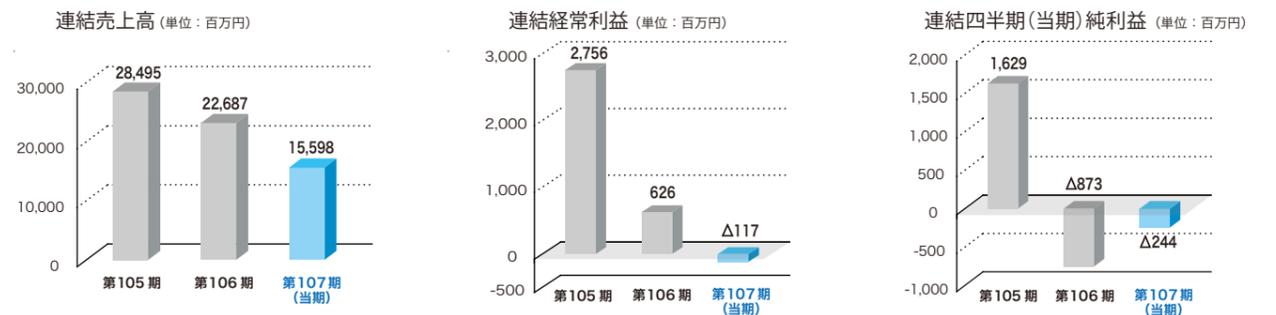
引き続き売上の拡大と生産の効率化・経費削減に努め、安定的な業績の伸展を図るとともに、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実にも努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客様に信頼され必要とされる製品を提供できる経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役社長執行役員 西嶋尚生

連結業績の推移



営業成績および財産の状況の推移

区分	第105期		第106期		第107期(当期)	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
売上高(百万円)	28,495	27,962	22,687	22,043	15,598	14,818
経常利益(百万円)	2,756	2,564	626	625	Δ117	Δ393
当期純利益(百万円)	1,629	1,544	Δ873	Δ540	Δ244	Δ408
1株当たり当期利益(円)	23.03	21.82	Δ12.88	Δ7.98	Δ3.65	Δ6.09
総資産(百万円)	32,732	32,031	25,703	25,425	31,147	29,771
純資産(百万円)	21,916	21,137	19,718	19,277	19,882	19,319
1株当たり純資産(円)	319.50	308.02	289.07	282.55	294.29	285.88

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期		前期	
	(平成22年3月31日現在)		(平成21年3月31日現在)	
資産の部				
流動資産	20,191	16,486		
現金及び預金	3,892	3,238		
受取手形及び売掛金	7,541	4,677		
たな卸資産	8,203	8,180		
その他	552	389		
固定資産	10,930	9,184		
有形固定資産	6,208	6,633		
建物・機械装置・運搬具等	5,420	5,806		
土地	591	591		
その他	195	235		
無形固定資産	53	43		
投資その他の資産	4,667	2,508		
繰延資産	25	32		
資産合計	31,147	25,703		
負債の部				
流動負債	9,296	3,855		
支払手形及び買掛金	6,946	2,129		
短期借入金	1,008	500		
1年内償還予定の社債	300	300		
未払法人税等	67	46		
その他	972	879		
固定負債	1,968	2,129		
社債	900	1,200		
その他	1,067	929		
負債合計	11,264	5,984		
純資産の部				
株主資本	19,334	20,019		
資本金	10,599	10,599		
資本剰余金	4,151	4,138		
利益剰余金	4,791	5,373		
自己株式	△207	△92		
評価・換算差額等	343	△487		
その他有価証券評価差額金	463	△508		
繰延ヘッジ損益	△99	-		
為替換算調整勘定	△20	20		
新株予約権	204	187		
純資産合計	19,882	19,718		
負債純資産合計	31,147	25,703		

◆連結株主資本等変動計算書 当期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等計		
平成21年3月31日残高	10,599	4,138	5,373	△92	20,019	△508	-	20	△487	187	19,718
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△337		△337						△337
当期純損失(△)			△244		△244						△244
自己株式の取得				△131	△131						△131
自己株式の処分		12		16	29						29
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						971	△99	△41	831	17	849
連結会計年度中の変動額合計	-	12	△582	△115	△685	971	△99	△41	831	17	163
平成22年3月31日残高	10,599	4,151	4,791	△207	19,334	463	△99	△20	343	204	19,882

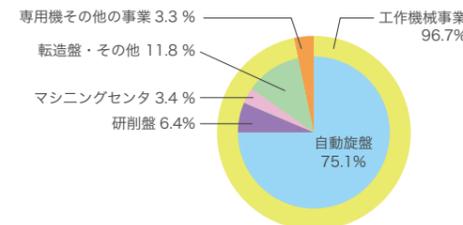
◆連結損益計算書

(単位：百万円)

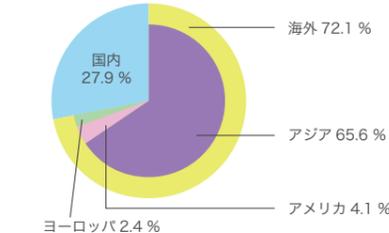
科目	当期		前期	
	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで		平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	
売上高	15,598	22,687		
売上原価	12,538	18,068		
売上総利益	3,059	4,618		
販売費及び一般管理費	2,974	3,808		
営業利益	84	810		
営業外収益	295	149		
営業外費用	498	332		
経常利益又は経常損失(△)	△117	626		
特別利益	-	106		
特別損失	1	1,488		
税金等調整前当期純損失(△)	△119	△754		
法人税・住民税及び事業税	72	60		
過年度法人税等	17	-		
法人税等調整額	35	58		
当期純損失(△)	△244	△873		

◆売上高構成比(連結)

事業の種類別・機種別売上高構成比(当期)



地域別売上高構成比(当期)



新製品を市場に投入

◆CNC 精密円筒研削盤 G300/G350

円筒研削盤の新機種として「CNC 精密円筒研削盤 G300/G350」を発表しました。高精度重研削が可能のため、自動車関連部品の大量生産から複数類似ワークの中量生産まで自動化が可能です。

- といにしにツガミ独自の高剛性動圧軸受を採用しました。
- スライド案内面は、安定した精度のV-平構造を採用しました。
- 研削盤用加工パターン入力を標準装備しました。
- デッド/ライブ切替え主軸台を標準装備しました。
- 充実した標準仕様と豊富なオプションにより多品種のワークに対応します。さらに高速ローダー(オプション)の装備で自動化をサポートします。



◆CNC 高精度自動旋盤 C180

くし刃型自動旋盤の新機種として「CNC 高精度自動旋盤 C180」を発表しました。機械とNCローダのトータル設計により、最小フロアスペースと高生産加工を実現しました。小径高精度部品の量産加工に最適です。

- シンメトリック主軸台構造により、1次2次の表裏を高精度に加工できます。
- ツガミ独自のエアチューブレス主軸による高速加工で高生産を実現します。



◆CNC 精密自動旋盤 MB25

タレットタイプの自動旋盤の新機種として「CNC 精密自動旋盤 MB25」を発表しました。2.5インチハードディスクドライブの部品であるハブのブランク加工に最適です。

- 前後タレットによる同時加工でサイクルタイムを大幅に短縮します。
- 主軸は油圧シリンダの搭載により、チャック握力がアップします。
- スライドは、剛性の高い幅広角型すべり案内を採用しました。

